

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名	コード	32300	空き家等対策推進事業	予算科目	会計	一般	款	8	項	4	目	1	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
所管課	都市整備課			担当班	建築住宅班									
施策体系	基本施策	21	良好な生活環境の形成	根拠法令	旭市空家等の適切な管理に関する条例ほか									
	施策の展開	39	住み良い住環境の確保	戦略事業	193	空き家対策事業								
	施策の展開			戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない			
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 27 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	空き家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている実態を受け、これらの解消と発生抑制・活用につながる施策を実施する。			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
平成27年度に空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、これに伴い平成29年度より旭市空家等の適切な管理に関する条例が施行となった。	今後必要となる対策計画や協議会発足、具体的な施策を実施するための根拠となりうる市内の空家の実態を把握する必要がある。	周辺に迷惑となっている空き家について何とかしてもらいたい。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算) 単位:千円	
1.委託料	8,964 旭市空家等実態調査業務委託
2.使用料及び借上料	0
② 特定財源の内訳 (30年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	4,482 社会資本整備総合交付金(住宅局関係)
2.都道府県支出金	2,241 千葉県空き家等対策推進事業補助金
3.地方債	0
4.その他	0

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
	1.委託料	千円	851	0	0	8,964	0
財源	2.使用料及び借上料	千円	0	0	0	0	1,683
	事業費計(A)	千円	851	0	0	8,964	1,683
	1.国庫支出金	千円				4,482	
	2.都道府県支出金	千円				2,241	
	3.地方債	千円				0	
4.その他	千円				0		
5.一般財源	千円	851	0	0	2,241	1,683	

前年度増減理由	市内に存する空家等の実態調査を実施
---------	-------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 200 日 = 延べ 200 人

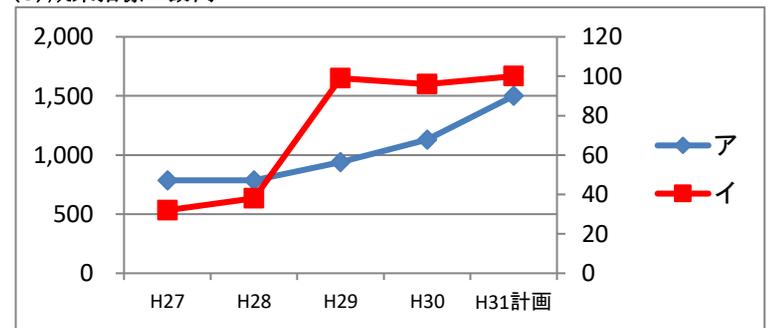
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・空家等に対する苦情対応(所有者への通知等) ・市内に存する空家等の実態調査を実施	ア 空き家数	件	786	786	940	1,129	1,500
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 住宅総数	件	25,260	25,260	25,260	25,260	25,260
	対象意図 空き家 対象意図 苦情の解消	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
		ア 空き家数	件	786	786	940	1,129	1,500
		イ 苦情件数	件	32	38	99	96	100

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
		⑦	①
			②
			③
			④⑤
			⑥
			⑦⑧
			⑨
			(7)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	平成30年度は実態調査で現状の把握を行ったが、抑止力のある具体的な施策を実施していないため。
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値減=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値減=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	空家数は年々増加しており、またこれまで家屋の倒壊等の相談が中心であったが、専門部局に分散していた害虫、樹木、廃棄物等の相談についても、空家管理の相談窓口として集約されたことが周知され、苦情等の相談が大幅に増加しているため。
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 令和元年3月31日まで 内容 空家管理システムの導入と対策計画案、協議会案の作成 今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()
	令和元年度以降 空き家実態調査結果を基に管理システムの導入と、対策計画の策定、施策実施のための協議会の発足等